

# ガバナー月報

各地ロータリークラブ

昭和27年6月30日

No. 12 補追

## 会長並ニ幹事殿

### 国際ロータリー 星野行則 第60区 ガバナー

#### 1 年 の 回 顧

1951～52 年ノ 第60区 ガバナー トシテ 為サ ナレバ ナラナカッタ仕事ノ量ハ 前任者ヨリ多ク 後任者ハ半減スル ノデ、全日本1 区ノ最後ノ ガバナートシテ 私ハ最も忙シイ 且ツ重イ負担ヲスル マワリ合ワセニナリマシタ。私が当面シタ 仕事量ハ コノ年度ノ世界ノ200余ノ他ノ地区ノ全ガバナーニ比較シテモ、最も忙シイ 重イモノデ アッタロウト 考エラマスノデ、コノコトハ 日本ノ ロータリーノためニモ 全世界ノ ロータリーノ発展ノ史実ノ 資料トシテモ 記録シオクベキモノト 思イマス。単ニ私事トシテハナク ソノ必要カラ事実ヲ記録 シテオコトニシマス。

#### A. 公式訪問ノコト

公式訪問ハ 各ガバナーニ 課セラレタ任務ノ 1 デアリマスガ、クラブ数ヲ地理的事情ニヨツテ 難易ノ差ノデキルコトハ 止ムヲ得マセンガ 本年ノ60区ハ 単ニ公式訪問ノ任務ダケデモ他ノ地区ヨリモ重イモノニ当面シタ存ジマス。ナゼナレバ 現在 75クラブ以上ヲ 包含スル地区ハ第13区ダケデ、単ニクラブ数ヨリ申スト 第13区ハ 84クラブデ最高位デアリマス。コノ第13区ハ英国ノ中部ノ ロンドンヲ中心トシタモノデ英国ヲ16地区ニ 分割シタモノノ ナカノ1 区デアリマス。ソノ狭イ地区内ニ 84 クラブハ近距離ニ 密集シテ 存在シテイマス。ロンドン市内ト ソノ接続シタ 地域内ダケデモ 37クラブガアル

ノデ 東京市内ニ 3クラブアルヨリモ 遙ニ密度ガ 高イノデ アリマス。第13区全部ニシテモ 畿内ホドモナイ 面積ナノデ アリマスカラ、ガバナー（英国ニテハ各地区ノ ガバナーヲ本部 代表レプレセンテータート呼ンデオル）ガ公式訪問ヲスル場合 ニモ ドノクラブニモ 1 時間カ 2 時間デ行ケル近距離ニアルノ デ、クラブ数ハ多クアツテモ 公式訪問ニ要スル 行動距離モ ソレニ要スル時間モ 遙ニ少クテヨイ ノデアリマス。世界ノ 諸方面ノ地区ヲ考エテモ 1 地区ノクラブ数ハ多クテ 30カ 40グライガ多ク ソノクライヲ 理想トサレテ オルノデ、第60区ノ 75ヨリ ズット 少ナイ トコロ バカリデアリマス。クラブ数ノ 多イトコロ 例エバ 第160区ハ カリフォルニアヲ 6 分割シタ 1 ノローサンゼルス附近デ アツテ ソノクラブ数ハ 69アリマスガ、クラブト クラブノ距離ハ自動車ナラ 2 時間以内デユケル トコロニ密集シテイマス。第213区ニシテモ クラブ数68デ最も 多数ノクラブヲ モツテオル地区ノ1 デアリマスガ、ソノ面積ハ イリノイ州ヲ 4 分割シタ1 デ シカゴ附近ヲ 1 区ニシタモノデ 諸クラブハ シカゴヨリ 1 時間カ 2 時間ニテ ユケル 距離ノ トコロニ 密集シテイマス。殊ニ 道路状態モ ヨイノデ 公式 訪問ナドモ随時随所ニサレル便利ノトコロニアリマス。面積ガ広ク 交通不便ノ地区ハ クラブ数モズット少ナイノガ通例 デアリマス。コノ点ハ第60区ノ日本ヲ 1 区トシタ立地事情ト クラブ数關係ハ全ク異例デアリマス。例エバ大阪ヲ中心 トシテ 北陸ナリ 四国ナリ 九州ナドニ 行クトシテモ 片道ニ

1 日ヲ費サネバ ナリマセン。東北 北海道ニナルト 片路ニ  
2 晝夜ヲ要スル トコロモアリマス。ソノ上ニ北海道ニ行ツタ  
序ニ 東北ヨ マフレバ 距離ト 時間モ 節約サレルノデ ソウ  
シタイノデアリマスガ 10日モ 20日モ 或ル方面ダケニ 参ッテ  
オッタノデハ 各クラブトノ交渉ヲ 本部ニ対スル急用件ナドヲ  
停滞サセルコトニナツテ、ガバナー 他ノ重大任務ヲツクサレ  
ヌコトニナルノデ、或ル地方ニ参ッテモ、一応大阪ニ 歸リ  
続々集ッテオル 用件ヲ片ツケテ マタ出懸ケル コトハ止ムヲ  
得ナイノデアリマス。北海道カラ 九州ノハテ 北陸カラ四国  
ト散布シタ 諸クラブヲ訪問スルコトハ 単ニ公式訪問ダケデモ  
他地区ノクラブ数ト 立地事情ノ上ニテ 今年度ノ第60区  
ハ 特殊ノモノデアリマシタ。

#### B. チャーターナイト、インターシティーフォーラム

60区ニハ 戦時中本部ヨリ 離脱シタ クラブガ 復歸シタ  
モノト 新ラシク結成サレタ クラブガ 多数アツテ ソレガ私ノ  
任期中ニ チャーターナイトヲ 行イマシタ。私ハソノ 23クラブ  
ニ参列シマシタ。チャーターナイトハ 多ク 季節ノ ヨイ時期ヲ  
選ンデ行ワレル タメニ昨年10月半ヨリ 11月半マデニ 1カ月  
間ニ 1日 2日ノ間隔ヲ オイテ 12クラブガ 連続シテ チャー  
ター ナイトヲ 行ツタ コトモアリマス。コレナドモ他ノ地区ニモ  
類例ノ少ナイコトデ アツタロウト 思イマス。

コノ外ニ 私ハ 各ブロック ゴトニ 催サレタ インターシチー  
フォーラムニモ 4カ所ニ 参列シマシタ。コノヨリナ 事情デアリ  
マシタカラ 私トシテハ 極メテ忙ガシイ キワドイ 行動ヲ ツツケ  
ナケレバ 任務ガ ツマラス ノデアリマシタ。实例ノ 1 端ヲ  
申スト 三重縣クラブノ公式訪問ヲ終ルト ソノ地ヨリ直チニ  
大分クラブノ チャーターナイトニ参リ ソノ晩ノ夜行ニテ 翌日  
ハ仙台ノ アッセンブリーニ臨ンダ コトモアリマシタ。マタ 松阪  
ノ公訪ノアトデ 名古屋ヲ中心ノ インタシチーフォーラムニ 列シ  
ソノ 翌々日 修善寺ノ インタシチー フォーラム ニ行ク予定ノ  
トコロ、ソノ中間ノ 1日ヲ 大阪ニ 引返シテ 区大会ノ  
準備会ニ臨ミ ソノ晩ノ夜行ニテ修善寺ニ着シテ ソノ行事  
ヲスマシ ソコヨリ自動車ニテ 8時間 天城山超エテ 千葉  
クラブニ公式訪問ヲイタシタ コトモアリマシタ。要スルニ 夜ヲ  
、 昼ニツイダ行動ヲツツケテ 任期ノ最後ノ週ニ 宇都宮クラブ  
ヲ公式ニ訪問シテ 辛ウジテ賦課サレタ 任務ヲ 遂行シ得タ  
ワケデアリマシタ。

#### C. 区分割ト兩ガバナー選出

区分割ハ 手嶋前ガバナー ノ時ニ 諸準備ハ 進メラレ、  
私ハ ソレヲ引続イテ 実現スル責任ヲトルコトニ ナツタノデ、  
ソレヲ ココマデ進メテイタダイタ コトニツイテハ 手嶋前ガバナー  
ニ深ク感謝イタシマス。コノ準備ニモ 境界線ノ決定ヲ ソノ  
附近ノ 諸クラブノ帰属ニハ 機微ノ コトモ アツタワケデアリ  
マシタガ、ソレヲ実現スル責任ヲ トツタ私ニハ ツレ以上頗ル  
面倒ナコトガ多クアツテ ソノ処理ニハ 大ナル苦心ヲシマシタ。  
ソノワケハ コチラカラ提言シタ 分割案ガスグ 決定シテオレバ  
アトハ両区ヨリ 次期ガバナーヲ 郵便投票スル 手続ヲトレバ  
ヨイノデ 何ノ面倒モ ナイノデ アリマスガ、分割ガ キマラズニ  
オツテハ ガバナーヲ 1人選挙スルノカ 2人選挙 スルノカモ  
ワカラズ 選挙ニ手ヲツケルコトガデキマセン。他ノ区ニハ分割  
ナドハ ナイカラ選挙ニモ充分ノ余裕日数ヲモツテ 着手デキル  
ノデ 第1回 投票ニテ キマラスデモ 2回 更ニ3回トナリ  
直シテ 最後ニ決定サレル余裕モアルノデ、手数ハカカツテモ  
何ノ心配モ ナイノデアリマスガ、我 第60区ハ 恰モ分割ガ  
懸案中トナツテ居タ為メ 手続ヲススメラレスノデ アリマシタ。  
然ルニ本部ヨリハ 12月15日ニ選挙手続ヲ終リ 2月1日  
ニハ 合法ノ決定ヲスルヨウニト 通達ヲ ヨコシテオキ ナガラ、  
10月モ11月ニモ 分割ノ通知ハ参リマセン。ソレニ 今年ハ  
メキシコ シチー ニテ大会ノアル關係上 2月1日ニハ次期  
ガバナーガ キマツテオラネバ ナラスノニ 60区ダケハ 地区分割  
処理委員会ガ 開ケヌ為メカ マタハ 他ノ理由ナノカ ソノ  
通知ガ 来ヌノデ 私ハ飛行便、電報ト ソノ決定ヲ 催促  
シテモ ツレガナカナカ来ヌノデ、最後ニハ 区分割ハ 1年ダケ  
延期シテハドウカ、若シ分割ニ見透ガ ツイテオルナラバ分割  
ヲ仮決定シテ 2人ノガバナー選挙ノ 指令ヲ ダシテクレテハ  
ドウカ ナドトマデ 強硬ノ催促ヲ シタトコロ、12月2日 ニ  
ナツテ ラヴジョイ総主事ヨリ 私宛ニ次ノ 電報ガ来マシタ。

“No objections to districting received.  
Districts Sixty and Sixtyone effective one  
July 1952. Governor Nominee for each  
district should be selected. Lovejoy”

コレデ 合法ニ分割ガキマツタ コトモワカリマシタカラ、アトハ  
12月15日マデ 12日間ニ 第1 選挙ヲ終ラネバナラスコトデ

アリマス。北海道、九州ナド遠隔ノトコロカ 皆コノ短カイ期間ニ集メルコトハ 我国ノヨウナ郵便事情デハ頗ルムツカシクソレヲ集メテモ 決戦ヲ要スル結果ニナッタノデハアトノ期間内ニテ 決戦ノ完了モ 氣遣ワレマスノデ、コノ事情ヲロータリーアンノ良識ニ訴エテ 決戦投票ヲ用ユル必要ノナイヨウニ出来ルダケノ理解ヲ以テ処置シテモラッタメニ 幸ニ敏速ニ 円満ニ良イ結果ニナツテ 今日ノ実績ヲ見ルコトニナリマシタ。コレガ解決シタアトデハ何ノコトモナイノデアリマスガ、ソレガ懸案トナツテ ソレニ始末ヲツケネバナラス 当事者デアリナガラ 手ノツケラレス 立場ニアルトキノ実状ハ、ソレヲ体験シテ 始メテ 感得サルモノダト 思イマシタ。而シテ ソノヨウナコトガ 私ニ 回り合ワセタモノ一ノ経験ト 思イマシタ。

#### D. 区 大 会

区大会ハ 何レノ区ニテモ 全体トシテ 行ウ最大行事デアリマス。ガバナー ニトツテモ 重大責任ノ事業デアリマス。本部ニテモ コレヲ重視シテ 大会執行方式、大会ニテノ強調要項ナド 精細ノ指示ヲ与エテマス、各地区ハ 同一基本要目ノ下ニテ ソレゾレ 区大会ヲ 行ウ コトニナツテマス。

本年ノ60区大会ハ 私人ノ所属スル大阪クラブガ 世話役ニナルコトニナッタメ 同クラブ理事会ノ意向ニヨツテ 北沢氏が大会委員長ニ 選バレ 各部面ヲ担任スル 委員長ハ 大会委員長ヨリ 囑託シ 各部面ノ 担任委員長ハ 全会員ノ適任者ヲ ソレゾレ依囑シテ 幾度も協議ヲシテ 水モ漏ラサス ホドノ周密ナル 計画ヲ定メテ大会ヲ 開催スルコトニシマシタ。

大会ハ 前夜懇談会ヨリ 第1日ニハ本部会長代理トシテ マーデン理事ノ告辞、リッジウェイ大将ヨリコノ大会エノ祝辞、予定ノ講演、会員自由発言、次年度ガバナー、各クラブ役員ノ会合、第2日ニハ ロータリーノ 4方向ニ対スル 奉仕方法ノ討議ナド 熱烈ノ意見ノ 発表モアツテ ロータリー ノモツ 理念モ 精神モ 大会ニテ發揮スベキコトハ 完全ニ發揮シマシタ。決議委員間ニテ 合議シタ諸決議案モ 附議シテ 大会トシテノ 本務ヲ 完ウシマシタ。大会前日ノ ロータリー ゴルフファースノ ゴルフ競技、第3日ノ

市内ト 奈良ノ行楽ナドモ 予定ノ通りニ運ビ 参加者ニモ 満足デアッタト 思イマス。

200余ノ他地区ニテモ 大会ヲ 行ッテマス。ソレヲニ対シテ 我ガ 60区ノ コノ大会ハ 如何ナル業績デアッタカハ 本部ニテ 諸材料ヲ 考査シテ 批判スル日モ アリマシヨウガ 第60区トシテハ 他ニ劣ラヌ 優秀ノ成績ヲ 挙げ得タモノト 確信シテマス。本部長代理トシテ 臨席サレタ マーデン理事モ 各部会ニテノ 会員ノ 熱心ナル論議、ストライキ 異変ニテ、一夜ニ会場変更ニヨツテ 完全ニ 会議ヲ続行シタ経過ヲ 親シク体験シテ "ウオンドラフル" "驚異"ノ 讃辞ヲ連発シ 大会終了ノトキハ 固ク 私人ノ 手ヲ握ッテ 祝辞ヲ述べ 満腔ノ愉悦ヲ 表示サレタ コトハ コノ 大会ノ 成功ヲ 如実ニ示シテ オルト 思イマス。

大会ガ カカル業績ヲオサメタ事情ハ多々アリマス。ソレハ 一応検討シテ 私人ノ所感ヲ 申述ベテオク 必要ガアリマス。

大会ノ業績ヲ 挙グル為メノ 直接ノ大ナル事情ハ 何ト申シテモ 世話役デアル 大阪クラブノ 会員ガ 家族トトモニ 一糸乱レヌ 協調努力ヲシテ 成功ニ導イタコトデアリマス。思フヌ突然異変ニヨツテ 会場ヲ一夜ニ 切り替エル離レ業ノ 遂行モ 関係担当者ノ 平生持チアワセノ バック パウアーヲ 一時ニ利用シタ 機宜ノ処理ニ マツモノガアルナド 勿論ノコトデアリマス。マタ全国 各クラブニテハ 本大会ヲ ヨソノ オマツリ トセズニ各自ノ責任トシテ参加シテ ソレガ1500名ヲ 超ユル 大人数トナリ 笛フクモント トモニ踊ル熱意ヲ示シテ 全国1区ノ掉尾ノ 大会トシテノ偉績ヲ アグルコトニ サレタコトデアリマス。

大会ノ成否ハ 会場設備ト 食事モ大ナル 関係ガアルコトハ 多年 各処ニ行ツタ 多クノ経験ガ ソレヲ示シテオリマス。コノ点モ 戦後 カカル大会ヲ 大阪ニテ 開ク場合ニ 当事者ニハ 苦心デ アリマシタガ 第1日会場ニ アテラレタ 公会堂ノ 保有者デアル 市当局、第2日 会場ニ予定シテイタ 宝塚劇場 ソレガ 急ニ用イラレナクナツテ 大劇ヲ以テ第2回会場ニ アテルコトニナツテ ソレヲ会社ノ主脳部ノ方々が巨額ノ費用ヲ投ジテ ロータリー大会ノ 為メニ整備シタリ 好意ヲ示サレタコトナド 大会成功ノ 主要素デアリマシタ。

食事ニツイテハ 最モムツカシイ モノデアルコトハ 勿論デアリマス。1500ニ余ル大衆ニ 最モ平凡ナ食事ヲ出スサハ容易デナイニ 食道楽ノ 本場デアル 大阪ノ 最有名ノ 主要割烹ノ専門ノ方々が 出張シテ各々腕ニヨリヲカケテ競ッテ オ家芸ヲ以テ 参加者ノ 味覚ヲ 満足セシメタ コト、殊ニ ソレヲ盛ル為メノ 皿トシテ 陶界ノ 大家 浜田氏が 益子ノ カマ ニテ 特ニ ローター用ノ 為ニ 製出ニアタラレタ モノヲ 用ユルナド 頗ル 念ノ入ッタ 趣向デアッタ コトハ申ス マデモ アリマセン。

食事ノコトヤ ソレヲ盛ル皿ノコトナドハ グレニデモスグデキル コトデアリマセンガ 東京ノ 山本為三郎氏が 浜田大家ニ 巨腕ヲ揮フセタリ、割烹ノ名人等ニ 双肌ヲ 脱ガセタナドハ 全ク 同氏ナデラハ デキスト思フルル コトヲ ヤッテ イタダイタ フケデアリマス。

要スルニ、コノ大会ニハ 本部モ 大ナル関心ヲモチ 全国 ローターアンモ 熱意ヲモチ 諸方面ノ 同情が集マツテ 60区 最後ノ行事ヲ クライマックスニ シタモノデアリマシタ。

而シテ コノ大会中心ノ 主腦者デアル私ハ 始メヨリ終リ マデ 全ク一指モ 動かス必要モナクテ コレガ 完了シタコトハ 寒ニウレシク思ッテイマス。大会ニ関係シテ 努力サレタ方、大会ニ対シテ 大キナ 同情ヲ 寄せラレタ 方々ニ対シ 私ハ 心カラノ感謝ヲ 申述べマス。

## 自 己 反 省

私ハ ガバナートシテハ、ユトリモ モチ悠々トシタ 氣持ニテ 任務ヲ ツクシタ 念願シテ イマシタガ 事實ハ ソレヲ許シ マセンデシタ。日本ヲ 1 区トシタ最モ多クノ クラブ数ヲモッタ 1 時期ヲ引受ケル 回り合フセニナツタノデ、以上申述べタ ヨウニ 骨モオレ 忙シクモアッタ フケデアリマシタ。75ノ クラブ ヲ訪問シタリ、チャータナイト 23、インターシチフォーラム 4 カ所 ニ参列シ ソレヲ 報告ヲ ソノ日ソノ時ニ ヤッテノケ 何日 振リカニ帰レバ 本部ヨリノ通信ニ 応答ヲ要スル モノモアリ 全ク 重労働ト申シテ ヨイホドデ アリマシタ。コノヨウニ 全 能力ヲツクシテ ソレデ 全部ノ 任務ヲツクシ 得タカト申スド 決シテ ソウデハアリマセン。私ノ名ニオイテ 私ノ 知ラヌ間ニ 老ナ任務ヲ 私ノ為ニ シテモラツテアル事實ヲ 明シテオク 必要ガアリマス。ソレハ主トシテ 各クラブ 関係ノコトデ アリ

マス。各クラブヨリハ 諸般ノ問合せモアリマス、報告モアリ マス、用紙、文献等ノ請求モアリマス、新クラブ 設立ノ 指導、会員資格ノ詮衡、区財務ノコト、入退会員ノ コト、出席率ノ精査等 繁雜多岐ノモノガ多ク、コレ等ハ 寸時も 等閑ニサレヌ モノバカリ、若シ ソレヲ 停滞サスレバ 各クラブノ 機能ヲ停止スル 結果ニモナリマス。随ッテ コノ 部面ノ 私ノモツ任務ハ 頗ル 重大デアリマス。若シ閑散ノ 地区ノ ガバナー デアレバ 行動任務ノ 片手間ニ コレヲ 事務的ノ コトモ 処理サレ得ル 位置ニアル 人モアル デアリ マシヨウガ 私ノ ヨウニ 大部分ヲ 遠距離ニ 旅行スル必要 アルモノニハ コノ部面ノコトヲモ 同時ニ 1 人ニテ 処理スル コトハ 絶対ニ不可能デアリマス。当初私ガ ガバナートシテハ ソノ重要任務ニアタル人ヲ得ルコトノ 困難ヲ予想シテ 他ニ 適格ノ方ヲト申シタフケデモ アリマシタガ、コノ部面ハ 露口 君ガ 身ヲ挺シテ当リ フダサル コトニ ナツタメ、私ハ安心 シテ ガバナーニ ナツタフケデモ アリマシタ。申スマデモナク コノ 部面ノ 仕事ハ 単ニ 事務能力アレバ ツツマル モノデハアリ マセン、露口君ノヨウニ 前ニハ 村田、里見、前ガバナー ノ事務的補佐ヲナシ、多年 大阪ロータリーノ 幹事トシテ ローター ノコトハ全部理解サレテアルノデ 各クラブヨリ如何 ナル交渉ガアツテモ 直チニ ソレヲ処理スル コトノデキル経験 ト能力ヲモツ人ガ 私ノ智慧袋トナリ 私ノ腕トナリ 全部ヲ 引構エテ 當ッテ下サル コトニナツテ アルノデ、最モ 面倒ナ 各クラブ 関係ノ 諸問題ニ関スル限り 私ガ何レノ 地方ニ 参ッテ オツテモ、時々刻々ニ 輻輳シ 來ル案件ヲ 即時 即刻処理シテ 全クラブニモ ソノ機能ヲ十二分ニ 發揮スル ヨウニナツタコトハ、コノ有能者ガ ソノ部分ヲ 全部ニ引受 ケテ下サッタ タメデアツテ 私ハ 深く 同君ニ 感謝シマス。 同時ニ 同君ガ コノ 重要任務ヲ 心置ナク ヤレルヨウニ 全面的ノ 支持ヲ サレタル 大丸主腦ノ方ニモ ソノ好意ニ 対シテ コノ機会ニ 深甚ノ感謝ヲ 申述べマス。

我60区ハ 世界各地ノ ローターニ伍シテ 諸般ノ角度 ヨリ検討シテ 拔群ノ実績ヲ示シ 会長、総主事モ 機会 アル毎ニ ソレヲ指摘シ 諸報告ニモ 掲ゲタル 光榮アル記録 ヲモツテイマス。60区ノ最難局ヲ 背負ワサレタ 私ガ 何レノ 部面ニテカ 欠陥ヲ暴露スルナラバ 過去ノ 光榮ニ 汚点ヲ

印スルコトナリマス。而シテ 事務処理ハ 最モ ムツカシイ 部面ヲ。私ニハ 告ガ手デ 破綻危険ナル 任務デアリ マシタガ、コノ部面ハ 私ニ代リ、私トシテ 為シ得ヌ 部面ヲ 遺憾ナク 処理シテ イタダイタ タメ 破綻モ生セズニ ソレデ 60区ノ占メテ来タ伍列ノ 位置ヲ守リ得タラバ ソレハ主ト シテ同君ノ援助ニヨル コトヲ認識サレテ 60区トシテモ喜ンデ イタダイテ ヨイコトト 存ジマス。

カクテ 私ハ 一年間 1 切ノ私事ハ 皆アトマワシニ シテ 各地ニ マイルコトハ勿論 事務所ニテモ 家庭ニテモ 汽車 中ニテサイモ 何カシラ ロータリー ノコトニ 没頭シ 課セラレタ 任務タハ ドウニカ 為シオラセテ 1 年間 私ノ 持つて来タ バトンノ 1 本ハ 6 月27日～28日ノ 東京ニテノ アッセン ブリーニテ 新60区ノ 小林ガバナーニ 渡し、他ノ 1 本ハ 6 月29日～30日ノ京都アッセンブリー ニテ 新 61区鳥養 ガバナーニ渡し、私ノ任務ハ 終了シマシタ。

カクテ 私ハ走ルベキ 馳セ場ヲ走リツツケテ 老軀ニ重荷ヲ 脊負ナガラ 何ノ支障モナク 静カニ ゴールイン シ得タコトハ、 全ク 偏ニ各位ノ 温カキ同情ニヨルコトヲ銘記シテオキマス。

私ハ コノ1 年ヲ顧ルキ 大能者ヨリ ガバナートイフ聖火 ノ試煉ヲ受ケテ イタト存ジマス。 ソノ結果ハ 幸ニ 幾分ノ 純分モ残シ得テ 試煉ニ堪エ得タト 自信シテイマス。同時 ニ コノ1 年ノ試煉ニ 堪エタト イウコトハ コノ後 更ニ 大キナ 試煉ニモ アフスツトノ 天ヨリノ 声トモ聞カレマス。 奉仕ハ 試煉ノ連続ト 覚悟シテイマス。 コノ 自信ト 覚悟ヲカタメ 得タコトガ 1 年ノ最大ノ賜トシテ アリガタク 受ケテイマス。

#### ロータリー知友各位へ

在任中ハ余リニ 多忙デ各方面ヘ ゴウサタシマシタ。 コノ ノチハ交情ヲアタメル タメニ 時々信書ニテ 消息ヲ 申上 ガル コトニシタイト存ジマス。 コノ1 年ノ回顧ハ任務満了ノ ゴアイサツニモナシ 今後交信ノ 端緒ニモ イタシマス。 コレヲ 御読ミ下サッタ 方カラハ 1 片ノ オハガキヲ イタダケレバ ソレヲ交信簿ニ シタイト存ジマス。 ドウカ宜敷。

尙 別項英文、"1 年ノ回顧" ハ 1 年間ノ任務ヲ 数字ニ 簡略ニシテ 本部ニ 説明シタ モノデ アリマス。 他地区ガバナー ナドノ来信ニ 返事ノ出来ナカツタ モノモアリ マスノデ コレヲ申訳ニ スルツモリニテ 印刷シタモノデアリマス。

#### ○国際ロータリー基金寄附

6 月分トシテ下ノ通り寄附払込ガアリマシタ。

宇都宮	全員100%	28名分	¥ 100,800
奈良	〃	33名分	¥ 118,800
京都	追加	9名分	¥ 32,400
名古屋	〃	8名分	¥ 28,800
仙台	〃	2名分	¥ 7,200
門司	〃	1名分	¥ 3,600
千葉	\$1.00宛	29名分	¥ 10,440
			¥ 302,040

以上ニテ 今迄ノ 合計寄附額ハ 9,698,560円 トナリ コノ米貨換算額ハ \$ 26,940.44 トナリマシタ。

尙コノ1 年間ニ 寄附ヲサレタ総額ハ 3,243,160円 デ 米貨ニシテ \$ 9,008.77 ガコノ基金ニ 加エラレタ訳デアリ マス。 会厚各位ノ寄セラレタ 御厚志ニ対シ 私カラモ深く 感謝イタシマス。 尙コノ上トモ 引續キ 奮ッテ御協力アラフ コトヲ切ニ祈リマス。

#### ○6 月 出 席 率

浜 松	4	34	99.3
千 葉	5	29	97.3
小 樽	4	47	93.6
高 知	4	27	93.5
横 浜	4	60	92.9
倉 敷	4	26	92.4
川 崎	4	31	92.0
函 館	4	37	91.2
今 治	4	32	90.6
東 京 北	4	45	90.5
岐 阜	4	34	90.4
京 都	4	90	90.3
沼 津	4	30	90.0
岡 山	4	40	89.4
呉	4	31	88.5
札 幌	4	64	88.3
新 潟	4	42	88.1
姫 路	4	34	87.6
釧 路	4	28	87.5
岡 崎	4	27	87.4
川 越	4	30	87.4
豊 橋	4	31	87.1
半 田	3	25	86.7

長 浜	5	24	86.6
神 戸	4	86	86.5
下 関	5	26	86.0
横 須 賀	5	29	85.5
広 島	4	51	85.3
明 石	4	28	84.8
盛 岡	4	33	84.8
尼 崎	5	30	84.7
高 松	4	30	84.2
四 日 市	4	30	84.2
大 津	4	32	83.9

平 均 83.8

大 阪	4	119	83.7
東 京 南	4	51	83.7
東 京	4	214	83.6
塩 釜	4	22	83.4
長 崎	4	30	83.3
静 岡	5	46	83.3
仙 台	4	51	83.2
松 阪	4	30	83.0
西 宮	4	29	82.8
一 宮	4	27	82.4
堺	4	28	82.1
津	4	34	81.6
山 形	4	46	81.5
高 岡	4	30	81.3
和 歌 山	4	37	81.2
小 倉	4	36	80.6
宇 治 山 田	4	27	80.6
旭 川	4	37	80.4
名 古 屋	4	89	80.4
釜 石	4	21	80.0
大 垣	4	26	79.9
富 山	4	36	79.2
郡 山	4	25	79.0
大 分	4	31	79.0
福 井	4	33	78.8
金 沢	4	40	78.8
門 司	4	37	78.6
福 岡	4	58	78.5
松 山	4	31	78.3
長 岡	4	30	78.3
奈 良	4	33	78.0
甲 府	4	30	77.5
熊 本	4	32	77.1
佐 世 保	4	24	77.1

帯 広	4	29	76.9
徳 島	4	40	76.3
水 戸	4	23	72.7
宇 都 宮	4	28	71.4
室 蘭	4	28	70.7
福 島	4	34	70.0
鳥 取	4	28	67.9

合 計 2,947名 83.8%

## REMINISCENCE OF MY ONE YEAR AS THE 60TH DISTRICT GOVERNOR

I wrote this to inform you that I dedicated all my time and strength to the work of Rotary for one year. At the same time, this is a kind of apologetic excuse to my friends with whom I have come in close contact in my work, for some of my abrupt and discourteous manners I may have shown them during past twelve months.

Y. HOSHINO

Governor of 60th District, 1951-1952.

When I recall my one year as the 60th District Governor, I am very happy in my firm belief that I have completed a heavier and more difficult task compared with other Fellow Governors in the year 1951-1952.

I shall try to describe my work in a brief summary, enumerating them in an outline form. I am writing them down, not for my own sake, but with an idea that they may be of some reference in the development of Rotary.

### 1. Governor's work involving travel:

- A. Paid Official visits to 75 clubs (present number of clubs in the 60th District.)
- B. Attended Charter Night celebration of 23 clubs.
- C. Participated in the formation of 13 new clubs and visited 7 cities to organize new clubs.
- D. Took leadership in 4 inter-city forums, which took place in Kinki, Tokaido Tohoku and Shikoku blocks.

20,000 miles were travelled within 300 days to cover the above activities.

### 2. Business transactions performed through correspondence.

- A. Twelve Governor's letters.
- B. 75 drafts of Official Visit Memo.
- C. Continual correspondence with local Rotary clubs and other districts etc.
- D. The problem of dividing the 60th District into 2 districts.
- E. Election of two Governor Nominees by means of mail balloting within a short period of time.
- F. Work for the preparation and execu-

tion of the 60th District conference.

The above summary of my activities as a governor may show nothing outstanding but actually it was for me a stupendous task the difficulty of which can hardly be realized unless undertaken, not half way, but thoroughly as I feel I have done. Let me explain my above statement with the following simple facts.

To make it comprehensive, let me compare our district with some other district which has also a large number of clubs, for instance, the 13th District with 84 clubs. It is the only district that surpasses the 60th District in its number of clubs. Although the 13th District does surpass the 60th District in club number, the conditions under which the governor must work are quite different.

The 13th District covers a small area of London and its immediate vicinity and the 84 clubs per ratio of density within the confined area is much higher than in Japan. Furthermore, the roads are better with all kinds of good travel facilities. Consequently, the travelling required of the governor, or shall we say the representative, is not so difficult but rather comfortable. Even if we go on to consider other districts which have a great number of clubs, like the 160th or 213th Districts in the United States, the conditions are the same as the 13th District. Excellent motor roads and well controlled traffic enable the governors to call on their clubs in few hours by their own automobiles.

On the contrary, the area of the 60th

District which covers the whole of Japan, some 2,000 miles in length and 300 miles in width, contains the 75 clubs scattered a long distance apart from one another and moreover transportation facilities are far from good and convenient. If I were to make plan to visit clubs in Hokkaido from Osaka, it would take two full days to arrive in Hakodate, where the first club is located. From there, several hours or even a whole day is needed to visit each of the remaining 6 clubs. Therefore, it becomes necessary to spend two weeks to complete the club visits to 7 clubs and participate in the assemblies.

If I were to make plan to visit some other region along the way home, it would have saved time and travelling distance. But my absence of more than a month from my office in Osaka meant causing great inconvenience regarding other important tasks. Consequently, I was obliged to return to Osaka after completing my visit of one region and set out again to other regions after having dealt with whatever necessary business awaiting me there.

Travelling by night train without sleeping accommodations is very strenuous. I planned to travel by day whenever possible but often upon consulting the time table and the scheduled visits, I found that unless I travelled by night it would be impossible for me to complete my visit schedule within a limited time. Therefore I had to avail myself of whatever train, steamer or any other travel facilities necessary regardless of whether it was at night or day.

Moreover, it was most difficult to plan my itinerary a month in advance to inform the persons concerned about my schedule through my monthly letters. Such were the circumstances under which I had to make my schedule for Official Visits.

In the 60th District where there was a

rapid increase of new clubs, there were the important functions of Charter Night celebrations besides Official Visits and inter-city forums. Generally, Charter Night celebrations were arranged during the better seasons of the year. So it happened that 12 clubs held their Charter Night with an interval of a day or two in a period of a month, that is from the middle of October to the middle of November, 1951.

During such season, I was compelled to travel from Tokaido to Kyushu and Shikoku and again to Tokaido and Tohoku. This may have been a record travelling among the 1951-1952 governors.

This type of work is really very strenuous for anyone, regardless of age or health. Some friends of mine expressed anxiety because of my age and my conscientious effort in performing my duties without any attention to the risk I was taking. However, I was very careful regarding my health, managed not to miss a good night's sleep whenever circumstances permitted and thus have I been able to complete my final duty. Fortunately, I succeeded in performing my work on an advance schedule without any mishap.

I feel that I have done more work, quantitatively speaking, than my predecessors. My successors will probably find it somewhat easier. It means that one of the oldest Governors, a man of 82 years of age, happened to undertake a hard task under the hardest conditions and have emerged with a feeling of triumph for having successfully performed his duties and is humbly thankful and happy in having been of service in promoting the noble objects of the Rotary. So this year shall remain for me as the one glorious page in my book of many experiences.